

「第1回 次世代モバイル通信展」、および「ワイヤレスジャパン 2018」出展の
お知らせ
～直接メタノール形燃料電池をご紹介～

三菱ガス化学株式会社

2018年3月22日

三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、社長：倉井敏磨、以下「当社」）は、4月4～6日に開催される「第1回 次世代モバイル通信展」、および5月23～25日に開催される「ワイヤレスジャパン 2018」にて、直接メタノール形燃料電池（Direct Methanol Fuel Cell：DMFC）を用いた電源装置を紹介いたします。

DMFCを用いた電源装置は、災害時の非常用電源や、屋外用電源等として、長時間運用できることが特長です。当社は、同製品を日本放送協会（NHK）と共同開発しており、納品実績を積み上げております。

この度の展示会では、「500W 級無停電電源システム MGC-FC56」および「200W 級可搬型電源システム MGC-FC46」を展示実演いたします。さらに、これまでの販売・レンタル実績をもとにした屋外設置例や、独立電源としての利用事例についてご紹介いたします。

ご来場の際には、是非当社ブースにお立ち寄りください。

■展示製品



500W 級 DMFC
無停電電源システム MGC-FC56



200W 級 DMFC
可搬型電源システム MGC-FC46

詳しくは下記 WEB ページをご参照ください。

<http://www.mgc.co.jp/seihin/t/dmfc/>

■展示会詳細

①第1回 次世代モバイル通信展

会期：4月4日（水）～6日（金）
場所：東京ビッグサイト 西ホール
ブース番号：W5-51

WEB サイト：

<http://www.mobilenetwork.jp/>

②ワイヤレスジャパン 2018

会期：5月23日（水）～25日（金）
場所：東京ビッグサイト 西3,4ホール
ブース番号：6-2-5

WEB サイト：

<http://www8.ric.co.jp/expo/wj/>

<本件に関するお問い合わせ先>

天然ガス系化学品カンパニー 企画開発部 TEL：03-3283-4763

以上

<参考>

直接メタノール形燃料電池 (Direct Methanol Fuel Cell : DMFC) とは

メタノール水溶液を水素に変換することなく直接燃料とする固体高分子形燃料電池。

DMFCのメリット

- ・水素を燃料とした燃料電池と比較し、燃料の取り扱いや保管、輸送が簡便であり、安全性が高い。
- ・リチウムイオン電池等の各種二次電池を使用した無停電電源装置と比較し、長時間のバックアップが可能。
- ・ガソリン等の燃料を使用した内燃機関発電機と比較し、燃料の長期保存が可能。運転時の騒音が小さい。窒素酸化物 (NO_x)、硫黄酸化物 (SO_x)、一酸化炭素などの有害物質を排出しないため、屋内運転が可能。

用途例

- ・定置型：放送用機器・携帯基地局等のバックアップ電源、自治体・企業等の非常用電源。
 - ・可搬型：放送用機器用、屋外用、レジャー用の電源。
- また、震災などの災害時にも電源として力を発揮することが期待されています。